

## 新型コロナウイルス関連情報

(追加情報:英国・ドイツ・フランスにおける乗り継ぎの際の留意点)

先日3月28日のメールにおいて、英国・ドイツにおける乗り継ぎの際の留意点についてお伝えさせていただきましたが、この度、在英國日本国大使館・在ドイツ日本国大使館・在フランス日本国大使館より追加情報がありましたので、当館からもお知らせいたします。

### 1 スタンステッド空港からヒースロー空港への乗り継ぎの際の留意事項

在英國日本国大使館では、ロンドン・スタンステッド空港からロンドン・ヒースロー空港乗り継ぎの際の留意点について、以下の追加情報をホームページに掲載し、注意喚起を行っております。なお、詳細については、以下のリンクから在英國日本国大使館のホームページをご覧ください。

[https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/londontransit.html](https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/londontransit.html)

一度英国に入国し陸路移動することとなるが、移動手段としては、(1)タクシーで両空港間を移動する、(2)鉄道・バスで一度ロンドン市内に出てから乗り換えてヒースローに向かう、の二つの方法がある。

#### (1)タクシーの場合

空港でタクシー・サービスは提供されているが、タクシープールに待機していない可能性もあり、ウェブサイト(以下のリンク参照。)での事前予約が確実。

<https://www.stanstedairport.com/getting-to-and-from/by-taxi/>

#### (2)鉄道・バスでロンドン市内に出てから、乗り換えてヒースローに向かう場合

##### ●スタンステッド空港からロンドン市内

鉄道は「スタンステッド・エクスプレス」が空港からロンドン・リバプールストリート駅に運行している。現在のところ、1時間1本程度の間引き運転で運行中。

バスは、ナショナル・エクスプレスが空港からビクトリア・コーチ・ステーションまで、大幅減便(現在のところ1日4便)となっているが運行している。なお、エアポート・バス・エクスプレスは運休中。

##### ●ロンドン市内からヒースロー空港

鉄道の場合は、リバプール・ストリート駅から地下鉄でヒースロー空港に向かう方法とリバプール・ストリート駅からパディントン駅に移動して「ヒースロー・エクスプレス」でヒースロー空港に向かう方法がある。

バスは、ナショナル・エクスプレスがビクトリア・コーチ・ステーションからヒースロー空港まで現在のところ30分に1本程度の間隔で運行されている。

### 2 フランクフルトにおける乗り継ぎの際の留意事項

在ドイツ日本国大使館では、主にフランクフルトでの乗り継ぎの際の留意点につい

て、以下の追加情報をホームページに掲載し、注意喚起を行っております。なお、詳細については、以下のリンクから在ドイツ日本国大使館のホームページをご覧ください。

[https://www.de.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/konsular\\_coronavirus200313-1.html#06koukuubin](https://www.de.emb-japan.go.jp/itpr_ja/konsular_coronavirus200313-1.html#06koukuubin)

(1) 乗り継ぎ時間等の関係で、乗り継ぎ地(フランクフルト)で一泊する必要がある場合であっても、空港から出て(ドイツに入国して)ホテル等で宿泊することはできない。ただし、フランクフルト空港トランジットエリア内には、宿泊や休憩が可能なトランジット・ホテルがあるため、利用する場合には、事前に空き状況等について確認が必要。

(2) 航空券の購入時又はチェックイン手続き時に、預け入れ荷物がスルーで最終目的地(日本)まで運ばれるか必ず確認する必要がある(フランクフルト空港において預け入れ荷物をピックアップするためには、一度入国手続きをする必要があるが、入国は許可されない可能性が高い。)

### 3 フランスにおける乗り継ぎの際の留意事項

在フランス日本国大使館では、フランス経由で帰国する場合の留意点をホームページに掲載し、注意喚起を行っております。主な内容について、当館からも以下のお知らせさせていただきます。なお、詳細については、以下のリンクから在フランス日本国大使館のホームページをご覧ください。

[https://www.fr.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/coronavirus\\_00029.html](https://www.fr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/coronavirus_00029.html)

※パリの空港としては、シャルルドゴールとオルリーの2つを通常使用していますが、4月1日以降はオルリーを閉鎖し、全ての離発着がシャルルドゴールで行われています。

日本人が、第三国から空路でパリに到着し、トランジット(入国を伴わないトランジットエリア内で乗り継ぎ)で日本へ帰国することは可能であるが、以下の点に留意が必要。

(1) 現在、フランス政府は、EU非加盟国民によるフランス入国を制限していることから、フランス滞在許可証を所持しているなど特別の事情のない限り、日本人がフランスに入国することはできない。

(2) フランス入国を伴わないトランジット(入国を伴わないトランジットエリア内での乗り継ぎ)で帰国することは可能だが、フランス政府は乗り継ぎを同日中に済ませるよう奨励しているため、乗り継ぎ便の確保に当たっては、可能な限りパリへの到着日中に乗り継ぎを済ませるよう調整が必要。

(3) 預け入れ荷物が発生する場合は、パリへの空路を確保する際に、スルー(預け入れ荷物を乗り継ぎ地であるパリで引き出す必要がなく、最終目的地まで運ばれる)で日本に運ばれるか必ず確認する必要がある。パリの空港で荷物を引き出すためには一度入国手続きをする必要があるが、現在は入国が許可されないため、荷物を受け取ることができない。預け入れ荷物のスルーチェックインができないと、帰国後にロス

トバゲージとして手続きしなければならなくなる可能性がある。一般的な商用便ではなく、臨時便等を利用する場合、スルーチェックインが出来ない可能性があるため、出来るだけ機内持込み手荷物だけで搭乗することを推奨。

(4) パリCDG空港トランジットエリアの商店は閉鎖しており、飲食物の入手が困難。乗り継ぎ時間が長くなる場合に備え、搭乗地から食べ物を持参するよう推奨。

(5) 現在、パリCDG空港と本邦の間で直行便を運航している航空会社はエール・フランス航空のみ。関連するウェブサイトは以下のとおり。

パリ出発便:

[https://www.airfrance.fr/flight-status/flight-list?originAirportCode=CDG&filter=C&\\_ga=2.101700356.40563237.1585583302-280066162.1555230656&\\_gac=1.14771074.1584378416.EAlaIQobChMI5ICdw72f6AI\\_VyLHtCh2KvACeEAAYASAAEgKWbvD\\_BwE](https://www.airfrance.fr/flight-status/flight-list?originAirportCode=CDG&filter=C&_ga=2.101700356.40563237.1585583302-280066162.1555230656&_gac=1.14771074.1584378416.EAlaIQobChMI5ICdw72f6AI_VyLHtCh2KvACeEAAYASAAEgKWbvD_BwE)

パリ到着便:

<https://www.airfrance.fr/flight-status/flight-list?destinationAirportCode=CDG&filter=C>